

保育施設等が休園になった教職員への勤務配慮を！ 妊娠中等の教職員の勤務のあり方を！ 感染防止のラッシュ時をさけた時差通勤を

— 新型インフルエンザにかかわった休校期間

豊中市は16日（土）に休校することを決めました。17日（日）には、休校等の連絡を保護者に入れるために緊急に出勤した方もたくさんいます。

子どもたちの間で、感染が広がらないことを願いつつ、健康面の把握もおこなうことも必要です。

休校措置をとったことで、様々な問題も生じています。

「教職員の勤務は通常通り？」

18日午前の時点で、市教委は「教職員の勤務は通常通り」としています。

感染防止で、厚労省が「国内発生確認後の対策実施に関するQ&A」（5月16日）を出しています。「具体的な対策の実施」として次のことなどがあげられています。

○人混みを避ける、咳エチケット

○学校の臨時休業

○時差通勤・通学

○「従業員の子ども等が通う保育施設等が臨時休業になった場合における当該従業員の勤務への配慮」

全教豊中は、厚労省からこのような内容が出ていることも示して、市教委に、教職員の勤務のあり方について次のような対策をとることをもとめました。

- ① 保育所休所の職員への勤務配慮
- ② 妊娠中等職員の勤務配慮
- ③ 感染防止の時差通勤

しかし、大教組によると府は「法的な根拠がない」ということで、府庁の職員に対しても休む場合は「年休対応」となっています。法の不備の問題であり、引き続き職員の声を届けていきます。

厚生労働省HPに新型インフルエンザについての情報があります。
全教豊中のHPからもTOPにリンクしています。



2009年5月18日
NO. 436

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

とよなか

全教豊中教職員組合

増える給食費の滞納 就学援助認定所得基準の引下げが原因

市教委は、給食費の滞納が多いということで、保護者宛ての「手紙」を配りました。

豊中市はこの間就学援助の認定基準を生活保護基準の1・25倍から1・2倍に引き下げています。下記グラフのようにこの間、認定所得基準もどんどん引き下げられてきています。

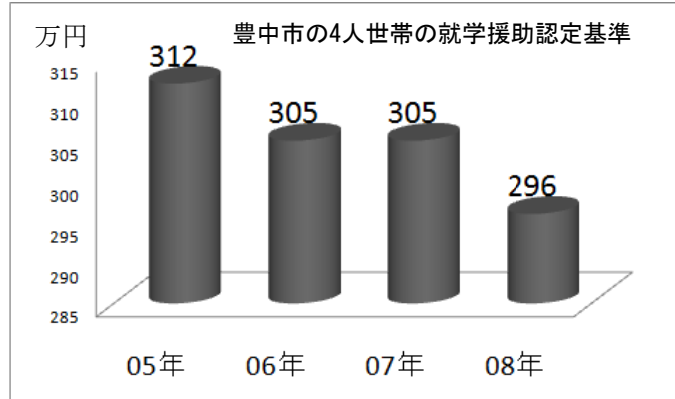
北摂七市で
一番低い認定基準
296万円(08年度)

面田	404万円
箕吹	399万円
高槻	347万円
茨木	313万円
摂津	369万円

北摂七市でも一番低い認定の基準となっています。

それでも約21%（5人に1人）が認定されている状況です。

昨年12月の市議会でも豊中市は給食費滞納の原因について、国の調査では半分以上が「保護者の責任感や規範意識」にあるとされていることをあげて、基準の復元を拒否し、低所得階層への冷たい姿勢をしめています。



(一面の続き)

感染防止のための緊急措置を求めます

全教豊中は、教職員の勤務に関わることと次のことを市教委に申し入れました。

- ・ 教職員用のマスクを必要数配布すること
- ・ 速乾性のアルコール製剤を配布すること。
- ・ 児童、生徒の手洗い用石けんを配布すること

時間講師―休校期間の給与は？

授業準備・教材準備で保障
非常勤講師などの時間講師も、休校期間中、授業はありません。しかし、その時間、学校で授業準備や教材準備などをすれば、給料は支給されることになっています。

知事の複数職員などと交わしたパソコンメール公表

学力テスト結果公表

「関心引くため騒ぎ起こした」

塾参入

「アドバイス 藤原先生に頼りましょう」

不適格校長・教員

「市議会議員に

チェックもしてほしいと頼んでおきました」

橋下知事の私用パソコンに残っていた電子メールについて、4月22日（水）から大阪府府政情報センターで情報提供されています。内容は、平成20年5月から12月までの間に複数職員等と交わした知事メール252件。その一部を紹介します。

学力テスト

送信日時：08年9月21日

「正答率の公表・非公表は、府民の関心を引き付けるために、騒ぎを起こしました。小難しいことを言っても、なかなか保護者には届きません。このように正答率が出ると、メディアはランキングしますから、いやおうなしに関心が高まるかと」

塾参入

送信日時 08年11月9日

藤原和博氏からの「英語を伸ばすためには『英語ア

ドベンチャーコース』を土曜日に開放して、3コマ積みませるのが一番早い：この講師も、当然、プロでなければ務まりませんし、教員では無理。（以下、略）」の進言に、「塾の参入と、英語のアドベンチャーなどのあたりをつけてしまつて、具体のアドバイスは藤原先生に頼りましょう。」

不適格校長教員・人事

送信日時 09年2月16日

「大阪府の教育改革を応援してくれる市議会議員の会が発足しました。（略）市議会議員に色々ご協力をお願いします。不適格教員のチェックもしてほしいと頼んでおきました。議員の不满は、校長人事、教員人事です。市町村教委に人事権がないので、不適格校長、不適格教員は、堂々としていくとのこと。（略）市議会の先生に不適格校長、不適格教員の情報を収集し、

府教委で研修フローに乗せていくという話もしております」

PTA

送信日時：08年12月7日

「PTAについて、早速藤原先生からご提案が来しました。ぼくの解体発言も、和田中の事例を念頭にしました。和田中がPTAをなくすという報道が頭にあつたので。PTA協議会等、極めて政治的な匂いもします。」



5月3日の市民パレード IN 豊中から

手元に置いておきたいこの一冊
学級づくり・授業づくり・教材研究に！

『発達障害と向き合う』

子どもたちのねがいに寄り添う教育実践』

学級のなかには、授業に集中できない、立ち歩く、じっとしてられない、自分の思いがうまく表現できなくて友だちとトラブルをおこしてしまう、衝動的に手が出てしまう、その場の空気が読めない、自分の気持ちがコントロールできなくてパニックになってしまふ・・といった子どもたちが何人かいます。そのなかには、アスペルガー障害や高機能自閉症、ADHDなどの発達障害をもっている子どもたちもいます。

この本は、そうした発達障害をもつ子どもたちと私たち教師がどう向きあうのか、また、そうした子どもたちを受けとめ大切にした

学級集団をどうつくっていくのかといったことに真直面から向きあった3つの教育実践を集めたものです。3つの実践とも大阪教育文化センターの障害児教育部会で何度も報告・検討されたので、障害と発達、生活の視点を大事にしてきた実践です。

発達障害をもつ子どもたちとどう向きあい、どのように学級集団づくりや授業づくりをすすめていけばいいのか悩んでいる方にぜひ読んでもらいたい1冊です。



青木道忠・越野和之・大阪
教育文化センター編
執筆 宮本郷子・大島悦子・
堤香里

出版社

クリエイツかもがわ
定価 1800円＋税